

RPPCメール

リサイクルポート推進協議会

第415号(平成23年12月28日発行)

【今週号の主な内容】

■《今週の報道発表》 1 件

■《事務局よりお知らせ》

★RPPC ホームページ 震災支援関連情報リンク集(毎週更新)について

■《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 名古屋港港湾計画の一部変更を審議
2. 浚渫土を湾域の深掘跡地に埋め戻す取組が拡大
3. 四日市港湾事務所が、がれき処理方法などの検討へ

=====

《今週の報道発表》

国際環境技術見本市「IE expo 2012」廃棄物処理・リサイクル技術ジャパンブースへの出展企業の募集について(お知らせ)

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=14620>

平成 23 年 12 月 22 日

【環境省】

=====

《事務局よりお知らせ》

★RPPC ホームページ 震災支援関連情報リンク集(毎週更新)について

先週の、震災支援関連情報リンク集の更新箇所【NEW】は、4 件でした。

詳しくは、下記リンク先より、ご確認をお願いいたします。

【RPPC 震災復旧・復興支援 関連情報リンク集】

http://www.rppc.jp/futtukou_link.html

【事務局】

《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 名古屋港港湾計画の一部変更を審議

名古屋港管理組合は12月19日、地方港湾審議会を開催し名古屋港港湾計画の一部変更について審議し了承した。今後、3月に開催予定の国の交通政策審議会港湾分科会に上程して了承を目指す。

今回の一部変更計画は、国の国際バルク戦略港湾の穀物分野に名古屋港が選定されたことを受け、専用バースの増深などを計画している。同港では国際バルク戦略港湾として、南部地区(北浜ふ頭)で、とうもろこし等の穀物バルクを取扱うこととしており、2015年までにパナマックス船の満載喫水での入港が可能となるようマイナス 14m泊地並びにドルフィンを整備する。また2020年までにはマイナス 17m泊地、岸壁を整備する計画を立てている。

今回の一部変更では、専用ふ頭のマイナス 12mドルフィン×3バースをマイナス 14mドルフィン×3バースに変更したほか、公共ふ頭としてマイナス 14mドルフィン1バースも新規に計画している。

【港湾空港タイムス】

2. 浚渫土を湾域の深掘跡地に埋め戻す取組が拡大

船舶の大型化に伴う航路泊地の増深で、発生する浚渫土を湾域の深掘跡地に投入する取組が広がっている。これまでに博多港、大阪港で事業がスタートしているほか、瀬戸内海域を中心に鉄鋼スラグを軟らかな浚渫土に混ぜ環境に優しい埋め戻し材として実用化する研究も進んでいる。深掘跡は青潮の発生原因とされ、埋め戻しによって水域の環境改善効果が期待されることから、漁業関係者も好意的だ。

今後は閉鎖性水域で湾内環境の改善が求められている東京湾や伊勢湾などでも港湾事業と連携する形で事例が増えてきそうだ。

【港湾空港タイムス】

3. 四日市港湾事務所が、がれき処理方法などの検討へ

中部地方整備局四日市港湾事務所は今年度、震災等発生後に四日市港の物流機能の早期復旧を実現するため、がれき処理方法などの検討を進める。

四日市港では現在、東日本大震災を受け示された港湾における地震・津波対策の基本的な考え方を踏まえ、同港の「地震・津波対策基本方針」の策定に向けた作業を進めている。同基本方針は、防災施設等の整備や避難対策の強化、港湾BCPに関する方針等を総体的にまとめたものとなる。このなかで港湾BCPの課題として、震災発生後のがれき処理方法等を検討し、霞ヶ浦地区国際海上コンテナターミナル等の物流機能の早期復旧に関する基礎資料を作成する予定。がれき処理については、同港の既存施設での処理容量や、受入れが可能な施設の把握などを行い、現状を整理する。また、がれき発生量を想定し、物流機能の早期復旧にどのような処理方法が有望なのかなどといったことを検討する。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者:RPPC 広報部会

部会長:本野 晃郎 パシフィックコンサルタンツ(株)

部会員:五月女 洋 五洋建設(株)

門脇 直哉 新日本製鐵(株)

柳井 健二 東京都

リサイクルポート推進協議会事務局

一般財団法人 みなと総合研究財団(内)

担当:首藤、築地、小高 URL:www.rppc.jp E-mail:rppc@wave.or.jp

※会員主催や会員に関係した催し物(セミナーなど)の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

#####